



# み ゆ き

小松市立御幸中学校

学校だより

N.O. 5

令和2年8月25日

文責：校長 河南光昭

## 2学期を迎えて…

いつもよりかなり短めの夏休みも終わり、今日から2学期を迎えます。夏休みとはいって、なかなかゆっくりと休むことができなかった人も少なからずいたことでしょう。

2学期は学校生活の上で、皆さんにいろいろな力を蓄える時期です。例年のような形で運動会や文化祭・合唱コンクールを企画することはできませんが、10月30日の生徒会企画に向けて、前後期の生徒会執行部を中心に、生徒自身が創り上げるイベントとしてとても期待しています。また、新しい生活様式を実践しながらも、少しずつ通常通りの学校生活および学習や行事を行っていく必要があると考えています。そのような日々の学校生活や行事を通じて皆さんには、着実に学力を身に付けるとともに、心の幅を広げて成長していってほしいと願っています。



始業式の放送で、皆さんに2つのことをお話ししました。1つは、信頼される人から「頼まれる」ことは「試される」ことであり、自分磨きの良いチャンスととらえ、恐れずチャンレンジしてほしいということです。

もう一つは、「志」を実現するとの大切さを学んでほしいということです。「志」を実現するためには、目標を掲げ、計画を立てて、一歩一歩着実に実践していくことです。ちなみにイチロー選手はかつて、1日たった10分ですが、高校生活の3年間一日も休まずに寝る前に素振りを続け、それをやり遂げたそうです。右はイチロー選手の目標設定の極意だそうですが、彼の言葉だけに重みがありますね。



“目標”って高くし過ぎると 絶対にダメなんですよね。必死に頑張っても、その目標に届かなければ、どうなりますか？諦めたり、挫折感を味わうでしょう。それは目標の設定ミスなんです。頑張れば何とか手が届くところに目標を設定すれば、ずっと諦めないでいられる。そういう設定の仕方が一番大事だと僕は思います。

## 主体的・自律的な学習を目指して…

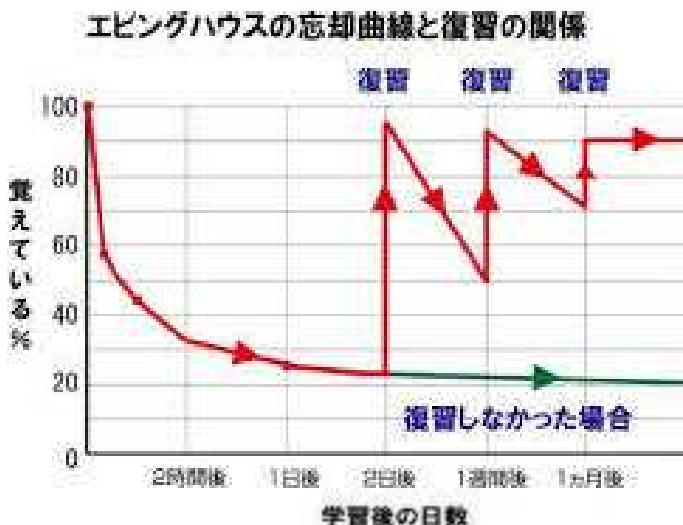
### ☆家庭学習の意義

今年度は実施されませんでしたが、これまでの全国学力・学習状況調査の結果から、家庭での宿題の取組、授業の予習・復習など、学力の定着と家庭学習の関係が明らかになっています。課題（宿題）を出す目的は、「学力を高める（授業の内容を定着させる）こと」と「学習習慣を身につける」ことです。そこで、本校ではこの2つの目的を達するために、毎週金曜日に、翌週の5教科分の課題を提示して、定着を図る取り組みを継続しています。

「学力を高める」ためには既習事項を覚えていなければ、積み上がっていくことにはなりません。実際、人間の脳は1日の膨大な情報を処理するために「忘れる」ような仕組みになっています。

右の図は『エビングハウスの忘却曲線』といわれるもので、人間の記憶と時間との関係を表しています。このデータによれば、人間の記憶は約8時間経過すると記憶の7~8割は消えて（忘れて）しまうということです。つまり、「せっかく覚えてすぐ忘れてしまう」というのは、実は人間として当たり前のことなのです。

そこで「忘れてはいけない情報」（=学習内容）であるということを脳に働きかけるためには、その日のうちに振り返ることが大切になってきます。その日の授業の内容をその日のうちに振り返れば、ほぼ100%の情報が復元できます。そしてそれを繰り返すことで、脳の記憶に刻み付けられ、「定着」していくのです。



## ☆家庭学習はかけ算

その日の授業内容を復習したり、課せられた宿題をこなしたりすることによって、忘れ去られようとする記憶（学習内容）を復元するためには、それなりの時間を要すると思います。家庭学習の効果は、かけ算といわれます。例えば1日の授業が6时限だとすると、家庭学習が0であれば、今日の授業 $6\text{時間} \times 0\text{時間} = 0$ となり、ほぼ失われてしまいます。1時間の家庭学習ではほぼ現状維持、2時間すると倍の効果があるというわけです。ですから、その日にあったことをその日のうちに家庭で振り返ることが、学習効果をぐっと高めます。そしてそれを継続していくことが、すなわち「学習習慣を身につける」ことなのです。

よく、テスト直前になって、ワーク等を使ってまとめて復習するという人もいますが、それはそれで何もやらないよりは効果があるでしょう。しかし、その効果は一過性のもの

ですから、テストが終わった時点からどんどん忘れていくことになり、積み上げにはなりませんね。学力の「貯金」をしていく決め手はやはり・・・ですね。

さあ2学期です。あなたの口座に学力の貯金を蓄えていきましょう。積立貯金を引き出すのは、高校入試の時でよいのですから・・・。



授業	家庭学習	効果
6時間	$\times 0\text{時間}$	= 0 小
6時間	$\times 1\text{時間}$	= 6 ↓
6時間	$\times 2\text{時間}$	= 12 大